

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-31	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	コⅢ347	PRO-VISION English Communication Ⅲ New Edition		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、題材は、生徒の発達段階を考慮に入れつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1 Building Your Life with Passion	スペインのサグラダ・ファミリアで主任彫刻家を務める外尾悦郎氏を取り上げた。彫刻家をめざし、海外で修業に明け暮れた若かりし日々の経験について読む。自己の興味・関心と適性を生かし、自らの進むべき道を開拓する精神を養うに資する題材。(第二号)	5～16 ページ
Lesson 2 How Jeans Got a Leg Up	ジーンズの歴史を通じ、衣服がもつ複雑で象徴的な意味や、衣服が語りかける力について考える。本課を通じ、幅広い知識や教養を身に付けることを目的とした。(第一号)	17～26 ページ
Lesson 3 The Miracle of Fermentation	発酵は食品の栄養価を高めたり、健康効果をもたらしたりするが、食品以外にゴミ処理や食糧問題の解決の糸口をもたらす可能性があることを学ぶ。自然の驚異を学び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うに資する題材。(第四号)	27～36 ページ
Lesson 4 Ansel Adams: The Art of Photography and Nature	生涯にわたってアメリカの自然を撮り続けた写真家アンセル・アダムスは、自らの作品と精力的な環境保護活動を通して、自然と人間の調和と共存というビジョンを広め、人びとの自然保護の意識を高めた。自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことの重要性を伝える。(第四号)	37～48 ページ
Lesson 5 Running Out of Water	地球上の水の総量は変わらないが、世界の人口は増え続けている。世界各地で起きている水不足の現状と、対する取り組みについて学ぶ。本課を通じ、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う(第四号)とともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画することの重要性を伝える。(第三号)	49～58 ページ
Lesson 6 Unbeaten Tracks in Japan	明治初期、イギリス人探検家イザベラ・バードが日本奥地を旅した際の記述を読む。ひとりのイギリス人女性の目を通して描かれた当時の日本と日本人の姿から我が国の歴史、伝統、文化を学ぶとともに、他国の人の視点を尊重する態度を養うに資する題材。(第五号)	59～68 ページ
Lesson 7 Why Is Dishonesty So Interesting?	実験によると、不正をはたらくのは少数の悪人ではなく、だれもが誘惑に駆られて不正をおこなう可能性があることと示している。本課を通じ、幅広い知識を身に付け、真理を求める態度を養い、道徳心を培うことを目的とした。(第一号)	69～78 ページ

Lesson 8 The Calculator War	電卓の小型化をめざした当時の技術者たちの創造性や勤労を重んずる態度（第二号）を通じ、より良い社会の実現のために主体的に社会にかかわることの重要性を伝える。（第三号）	79～88 ページ
Lesson 9 A Portrait of E.T.	人間の存在を大局的に捉えるため、ETの姿を生物学の進化の歴史から想定し、人類と比較した推論を読む。本課を通じ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを目的とした。（第一号）	89～98 ページ
Lesson 10 Smart Machines and the Future of Jobs	産業革命以降、技術の進化にともなって、仕事のあり方は変化にさらされてきた。本課を通じ、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う（第二号）とともに、公共の精神に基づき、社会の発展に寄与する態度を養うことを目的とした。（第三号）	99～108 ページ
Lesson 11 The Discovery of DNA	1953年、遺伝の鍵となるDNAの二重らせん構造が明らかになった。科学史を塗り替えたこの発見の経緯と、その後の遺伝子工学の発展について学ぶ。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うに資する題材。（第一号）	109～120 ページ
Lesson 12 How Language Shapes Thought	言語が認識や思考に大きな影響を与えていることを示す実験について読む。それぞれの言語には、祖先から受け継いだ、世界に対するものの見方が表れていることを知る。自国や他国の言語を尊重する態度を養うに資する題材。（第五号）	121～130 ページ
Reading The Garden Party	裕福な家庭で育ったひとりの少女が、近所に住む貧しい男の死をきっかけに、貧富の差や死に向き合うこととなる。主人公の心理描写を通じ、豊かな情操を培うことを目的とした。（第一号）	131～139 ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・ 与えられた情報の中の本質となる事柄を理解し、その概要を端的にまとめ、発信する能力を養うことをめざした。（Summarizing）
- ・ 語彙を増やすために、テーマごとに語彙を分類、拡張するネットワーク図を掲載した。（Vocabulary Network）
- ・ 生徒参画型の教科書をめざして、理解だけにとどまることなく、表現にいたるまでの活動を充実させた。（Listen & React / Read & React）

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-31	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	コⅢ347	PRO-VISION English Communication Ⅲ New Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・基礎的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを適切に活用する能力をはぐくむために、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱで学習した内容を踏まえながら、さらに発展させた内容を盛り込んだ。
- ・自他の生命や伝統と文化を尊重する精神を養い、主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、自然の尊さ、日本の伝統文化の可能性、環境問題、社会参加などの題材を採用した。
- ・生徒の言語や文化に対する理解を深めることをめざして、本文のテーマに関連する語彙を学習するページを設けるとともに、多様な国内外の文化を知ることができる題材を取り上げた。
- ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、自分の考えを話したり書いたりする言語活動を充実させた。
- ・情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにするため、また、言語の使用場面として、生徒に身近な場面の他、社会での暮らしに関わる場面も設定し、「読む」「聞く」「書く」「話す」を総合的に育成するための活動を多く設けた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1. 本課 (Lesson 1～12) ①扉ページの写真とリード文 ・本文の背景情報を示し、本文に関する生徒の既知の知識を活性化させる。	●「2 内容」の(2)のウ 背景となる知識を活用しながら読む。	各課の扉ページの写真とリード文	各8時限 (計12課)
②本文	●「2 内容」の(1)のイ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 ●「2 内容」の(2)のイ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読む。	各課の本文 同上	
③Get the Picture ・本文の要点を把握させるための質問。口頭または文字による英問英答の活動。	●「2 内容」の(2)のイ 論点や根拠などを明確にする。	各課本文の脚注	
	●「3 内容の取扱い」の(1) 聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導する。	同上	

<p>④Summarizing</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の内容に関する理解を確認する問題。 <p>⑤Summarizing</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の各段落の要点を問う問題。それぞれの要点を把握するだけでなく、各段落の役割と本文全体の流れを理解できるように示した（設問1）。 本文の各段落の要点を確認した上で、本課で学習した内容を簡潔に要約する課題（設問2）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「2 内容」の(1)のイ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 ●「2 内容」の(1)のイ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。 ●「2 内容」の(2)のイ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成を考えながら書く。 	<p>12, 22, 32, 44, 54, 64, 74, 84, 94, 104, 116, 126 ページ</p> <p>13, 23, 33, 45, 55, 65, 75, 85, 95, 105, 117, 127 ページ</p> <p>同上</p>	<p>各1時限 (計12課)</p>
<p>⑥Language Resources</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文のテーマに関連する語彙のネットワークを完成させる問題。特定のテーマに沿って、既習の語彙を整理しつつ、さらに語彙を増やす。（設問1） 語彙のネットワークにある語句を使いながら、与えられたテーマについて意見を述べたり、説明したりする活動。（設問2）各言語活動の設定にあたっては、学習指導要領の第3款の1の「言語の働きの例」から適宜選択して取り上げた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「3 内容の取扱い」の(2) 多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。 ●第3款の1「言語の働き」 c 情報を伝える d 考えや意図を伝える 	<p>14, 15, 24, 25, 34, 35, 46, 47, 56, 57, 66, 67, 76, 77, 86, 87, 96, 97, 106, 107, 118, 119, 128, 129 ページ</p> <p>25, 47, 57, 67, 77, 87, 97, 107, 129 ページ</p> <p>15, 35, 57, 97, 119, ページ</p>	<p>各1時限 (計12課)</p>
<p>⑦Listen (Listen & React)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文に関連する内容の英文を聞いて、内容理解を確認する問題。 各言語活動の設定にあたっては、学習指導要領の第3款の1の「言語の使用場面の例」から適宜選択して取り上げた。 <p>⑧Read (Read & React)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文、または本文に関連する内容の英文を読んで、その内容を書いたり説明したりする課題。課題の内容に応じて Useful Expressions に役立つ表現をまとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「2 内容」の(1)のア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 ●「2 内容」の(2)のア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞く。 ●第3款の1「言語の使用場面」 a 特有の表現がよく使われる場面 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 c 多様な手段を通じて情報などを得る場面 ●「2 内容」の(1)のエ 読んだこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 	<p>16, 58, 68, 78, 88, 98, 108, 120 ページ</p> <p>同上</p> <p>68 ページ</p> <p>58, 78, 88, 108, 120 ページ</p> <p>16, 98 ページ</p> <p>26, 36, 48, 130 ページ</p>	<p>各1時限 (計12課)</p>

<p>・各言語活動の設定にあたっては、学習指導要領の第3款の1の「言語の働きの例」から適宜選択して取り上げた。</p> <p>⑨React (Listen & React, Read & React)</p> <p>・本文に関連したテーマについて調べまとめた英文を書いたり、意見や感想を发表或したり、話し合ったりする活動。課題の内容に応じて Useful Expressions に役立つ表現をまとめた。</p> <p>・各言語活動の設定にあたっては、学習指導要領の第3款の1の「言語の使用場面の例」、[言語の働きの例]から適宜選択して取り上げた。</p>	<p>●第3款の1 [言語の働き]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする</p> <p>c 情報を伝える</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(1) 聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導する。</p> <p>●「2 内容」の(2) のエ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりする。</p> <p>●「2 内容」の(1) のウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>●「2 内容」の(2) のア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話す。</p> <p>●「2 内容」の(1) のエ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> <p>●「2 内容」の(2) のイ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図版との関連などを考えながら書く。</p> <p>●第3款の1 [言語の使用場面]</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面</p> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <p>●第3款の1 [言語の働き]</p> <p>c 情報を伝える</p> <p>d 考えや意図を伝える</p> <p>e 相手の行動を促す</p>	<p>48 ページ</p> <p>26, 36, 130 ページ</p> <p>16, 26, 36, 48, 58, 68, 78, 88, 98, 108, 120, 130 ページ</p> <p>同上</p> <p>48, 120 ページ</p> <p>16, 36, 48, 68, 78, 88, 98, 120 ページ</p> <p>16, 26, 36, 58, 68, 108, 130 ページ</p> <p>同上</p> <p>16, 48, 68, 78, 98, 120 ページ</p> <p>26, 36, 88, 108 ページ</p> <p>26, 36, 58, 88, 98, 108, 130 ページ</p> <p>16, 48, 120 ページ</p> <p>68, 78, 120 ページ</p>	
<p>2. Reading</p> <p>・精読させるため、登場人物の言動や心理を問う質問を適宜設けた。</p> <p>・本文最終ページに、物語を朗読する際のポイントを示した。</p>	<p>●「2 内容」の(1) のイ 物語を読んで、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p>	<p>131-139 ページ</p>	<p>8 時限</p>

<p>3. Skills and Strategies for Communication</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスコース・マーカ―：論理の流れを把握したり，論理展開の明確な英文を書いたりするために，ディスコース・マーカ―の役割を学習する。 ・慣用表現：状況や目的に応じた慣用表現を選択し，そこに自由表現を組み合わせて，自己の考えを相手にわかりやすく伝える方法を示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「2 内容」の(2) のイ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成を考えながら読んだり書いたりする。 ●「2 内容」の(2) のエ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりする。 	<p>140-145 ページ</p> <p>同上</p>	<p>4 時限</p>
---	---	------------------------------	-------------